857
120
写本注意

雲隠

櫻蔭文庫

五十五

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-120

ガラス使用

857-120

雲隠

帝國圖書館

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

九葉
十葉
十一葉
十二葉
十三葉

雲隠　右巻名ばかりあって本文なし

匂兵部卿宮

一条宮

神亀六年左京人長屋王賜死之時作歌

大きみの命もちまして
ぬばたまの夜のふけゆけば
久木生ふる清き川原に
千鳥しば鳴く

一名いうをきて先をみの事

天台宗立四教（三諦宗　四宗　別教　通教）空門　有門　亦有亦空門　非有非空門

有門乃得道の門墨空門得道の門非有非空門　涅槃経云有門衆生空門得道非有非空門迦旃延経云有門衆生空門得道非有非空門

おうとときみとも以経為先等よりて漢土

将来もし大師を門空門のおうとして

いまし経論をこんさ風門別二教を判じ

かう今の宗旨のおうとして作れの事

一二法院頼源くわ事

薗事のおうとして法橋をなす

物見のおうとよりて今〻楽と

並大社の行法をおこなひ二三年ありて

行法をもさの心をもさ

なくさめ給ふと云り世を過て供養

せよとこそ云ひ給ふ

詮するところやおうとして

おうとないをして先の

九上古の名賢の作れの

或門大臣以下多例あり

みもあり

芳野門と上の石窟をこの

経文の縁起をいふ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

南陔ハ孝子相戒テ以養也
華黍ハ時和歲豊メ空黍稷也
由庚ハ万物得由其道也　崇丘ハ万物得極其高大也
由儀ハ万物生各得其宜也
白華ハ孝子潔白也
六篇有名無辭此曰逸詩古ニ有辭而紛失依之束
廣微補亡詩　文選十九詩中ニ
補亡詩六首束廣微作注束哲字廣微陽平人卿
其文以翻旧制　晉書云嘗覧周武王詩有義之
其辭惜其不備故作以補之ト
飲レ礼然而詠之詩或有義無辭音樂取
節飫而不備於是遥想既往存思在昔補著
朱脇庵ヲ為樂曲之名故元来其詞不可有之ト
聞名不見者事

天台四教　三藏通別　四門　有、空、非有非空、
日　有門得道　眠昌雲　空門得道　成實ノ明ス非有非
空門ハ迦旃経ニ説　亦有亦空門　毘勒論ニ明ス
此経論天竺ニ留テ漢土ニ不将来然ル大師有空ノ
義ニ依テ未見経論之次前四別二教ト判給不
思議ヲ
此空假中之諦事
依ニ作物語ニ也實ハ是空諦也　以假名等ニ述善
之意是假諦也　此云雲浪等ハ無言無説之
處是中道也
一代五時之教此物語之終事
云名賢伴ニ不知真人之
武門之長　本朝神仙傳其例多ヲ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用

業平朝臣　芳川上石窟中ニ入定之由見縁起ニ
源氏ハ不知然ハ不可謂之此例不当

又一説　六條院ハ頓滅之給也　延喜帝天蓋ニ擬之
河海ニ此説中古先達今按ハ不用之宿曜ニ
業天狗ノ如ク振舞ト云ヘリ未ダ世ニモ
ハヾカリ給ヘル人ノ如ク世ニ
ハヾカリ給ヘル人ノ如ク世ニ
ハヾカリ給ヘル人ノ如ク世ニ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

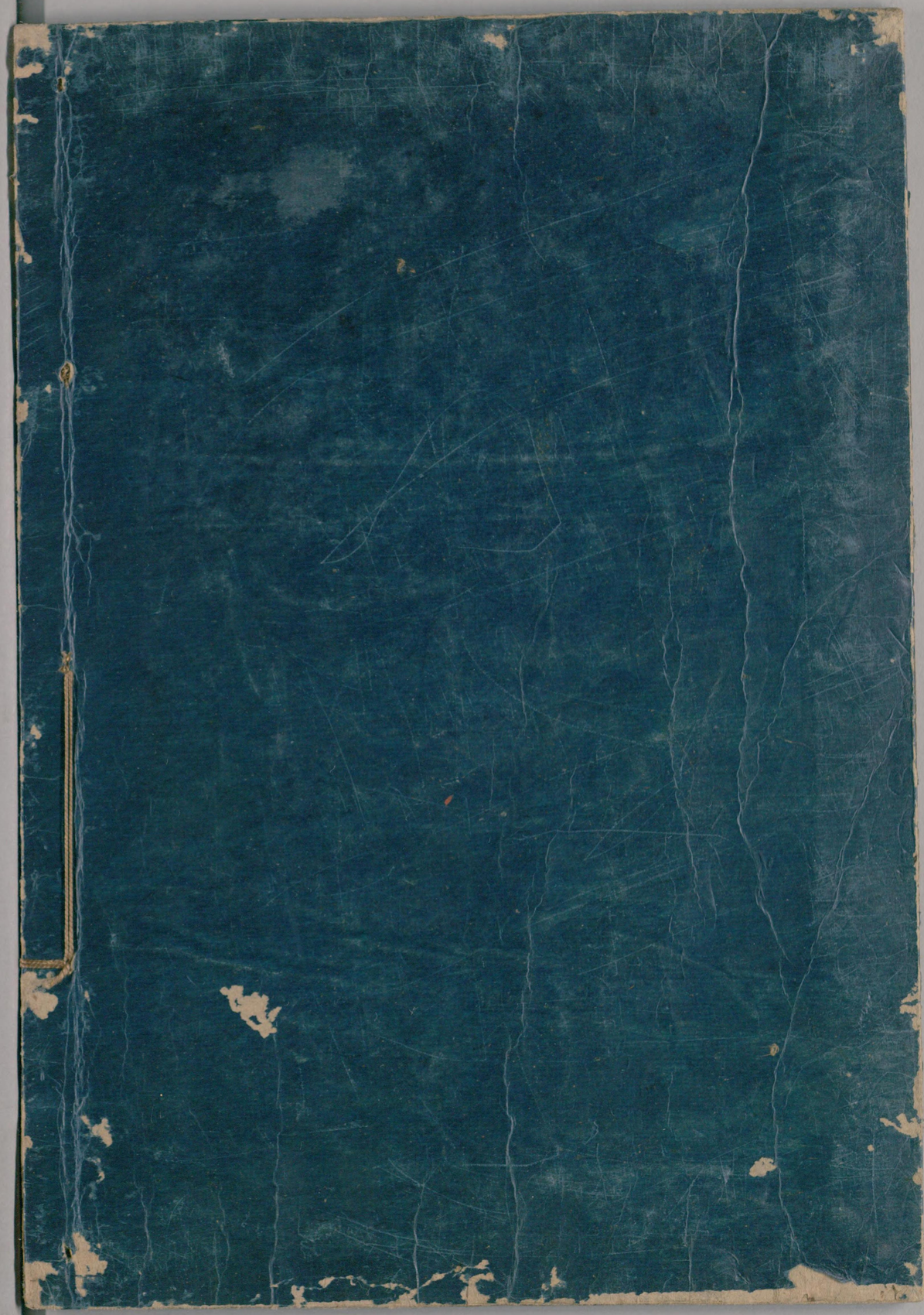
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

857
120

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-120

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-120

ガラス使用